



SKY Perfect JSAT
Holdings Inc.

株主通信 2018年3月期末

2017年4月1日 - 2018年3月31日

株式会社スカパーJSATホールディングス

証券コード: 9412



TOP MESSAGE



代表取締役社長 高田 真治

環境変化に対応すべく、戦略的事業提携やM&Aを通じ 事業基盤の強化・拡大に取り組んでまいります。

当社グループを取り巻く事業環境は大きく変化しております。

メディア事業の分野では、既存の有料放送市場が成熟しつつある一方で、豊富な資金力を背景に様々なビジネスモデルのインターネット動画配信事業者が参入し、コンテンツ獲得及び加入者獲得の両面で競争が激化しております。

宇宙・衛星事業の分野では、船舶・航空機向けの移動体衛星通信や携帯電話基地局向けバックホール回線需要が拡大する一方で、グローバル・マーケットにおいて海外衛星オペレーターとの厳しい価格競争を余儀なくされております。また、世界レベルで多くのベンチャー企業が宇宙ビジネスへの参入を目指して立ち上がり、低コストの打ち上げロケットの開発や大規模な低軌道衛星通信システム導入プロジェクトを推進するなど、従来型静止衛星ビジネスの環境も大きく変化しようとしております。

このような環境変化に対応すべく当社グループの各事業について、事業構造の改革と新たな事業領域の開拓を推進してまいります。さらに、将来の事業基盤の強化・拡大へ向けて積極的に事業提携やM&Aに取り組んでまいります。

2018年3月期の業績 —— 中期経営計画2年目となった2018年3月期の業績は、メディア事業では、視聴料収入の減少により減収減益となりました。宇宙・衛星事業においても、前期に計上した防衛省向け専用衛星の引き渡しによる売上の剥落及び減価償却費の増加により減収減益となりました。

Q 成長への取り組みについて教えてください。

新規衛星Horizons 3eの投入により、新たな需要を取り込みます。

宇宙・衛星事業では、国内携帯電話基地局向けバックホール回線の提供拡大と既存顧客に対する長期契約の更新を着実に進め、衛星通信事業の基盤を強化しております。また、防衛省より受注した「Xバンド衛星通信中継機能等の整備・運営事業」に関し、2016年にギアナ・スペース・センターへの輸送中事故により損傷した防衛省向け衛星の修理が完了し、2018年4月の打ち上げに成功しております。Intelsat S.A.(ルクセンブルク)と共同調達しているハイスループット衛星(複数のスポットビームを効率的に利用することで従来型衛星と比べ通信容量を大幅に増大させた衛星) Horizons 3eの製造は順調に進捗しており、今年度の打ち上げを予定しております。Horizons 3eでは成長著しい船舶や航空機向けインターネット接続サービスの需要などを確実に取り込むべく精力的なセールスを行っています。また、グローバルに展開しているKVH Industries, Inc.(米国)との間で、次世代海洋ブロードバンドサービス「OceanBBplus」(従来の「OceanBB」より高速で、広いエリアに通信を提供するサービス)に向け

た協業合意書を締結するとともに、連携強化を目指し同社に出資しました。

メディア事業では、プロ野球2018シーズンも巨人主催ゲーム含めセ・パ12球団公式戦を全試合放送し、プロ野球関連商品の加入も好調に推移しています。海外サッカーでは、今夏からのシーズンより多数の代表級日本人プレーヤーが活躍するブンデスリーガ(ドイツ)の放送を開始いたします。また、放送サービスと通信サービスを融合させて画像付きEPG(番組表)や見逃し視聴機能等を備えた「スカパー！ハイブリッド」をスタートしています。加入施策としては、スカパー！新基本パックを契約することで、ご家庭内の2台目・3台目の視聴料を無料とする「スカパー！新基本パック複数台無料キャンペーン」を実施しており、お客様にご好評をいただいております。

Q 2019年3月期業績の見通しについて教えてください。

増収増益の見通しです。

メディア事業において、事業構造改革の取り組みを強化します。

2019年3月期は、宇宙・衛星事業において防衛省向け専用衛星の引き渡し4月に無事完了したことなどにより増収増益の見通しです。また、将来の収益拡大へ向け、2020年3月期に打ち上げを予定しているJCSAT-17、

JCSAT-18の調達を着実に進めてまいります。メディア事業においては、一定の加入者減少を想定し減収予想ですが、すでに着手している事業構造改革の取り組みを強化し、コスト・コントロールを徹底することにより増益を確保する見通しです。放送サービス高度化への取り組みとして、12月からBS・東経110度CS「新4K8K衛星放送」で9チャンネルの4K放送を開始しますが、大画面・超高精細テレビの普及を追い風にスカパー！のHDチャンネル増や商品力強化などをフックに加入促進を図ります。

Q 株主還元について教えてください。

株主還元を重視し安定配当を継続いたします。

株主の皆様への還元につきまして、引き続き将来の成長へ向けた投資のための内部留保の充実と安定配当の継続を基本方針としております。2018年3月期の株主の皆様への配当は、1株当たり年間18円とさせていただきます。2019年3月期につきましても、同額の配当を継続する予定です。

株主の皆様におかれましては、引き続き当社の成長にご期待いただきながら、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2019年3月期 業績予想

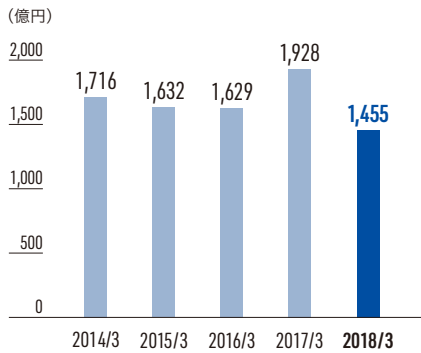
営業収益	営業利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
1,685 億円	165 億円	115 億円
前期比 15.8% 増	前期比 5.4% 増	前期比 1.3% 増



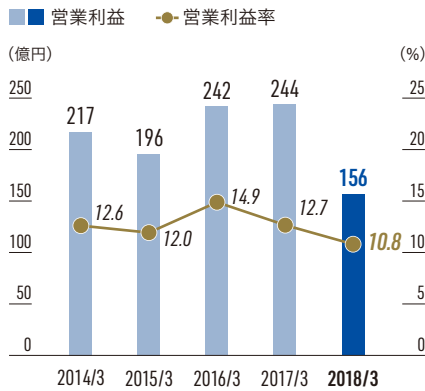
BUSINESS RESULTS

連結業績概況

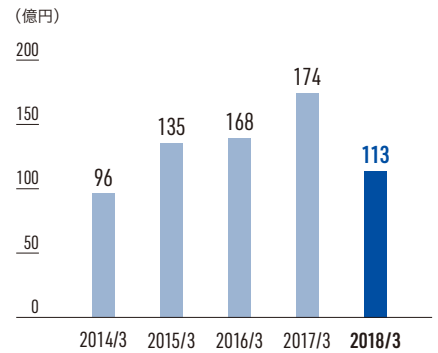
営業収益



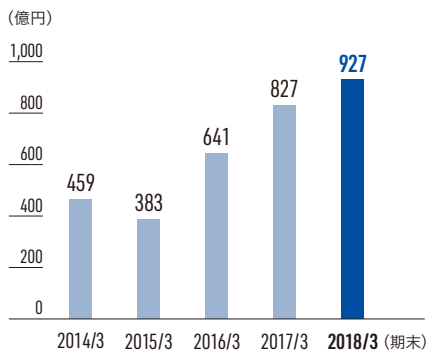
営業利益／営業利益率



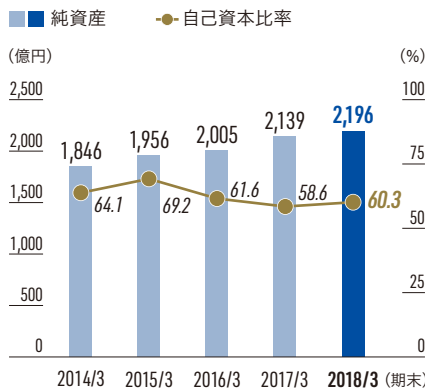
親会社株主に帰属する当期純利益



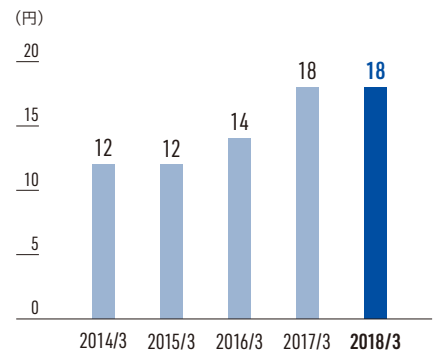
有利子負債残高



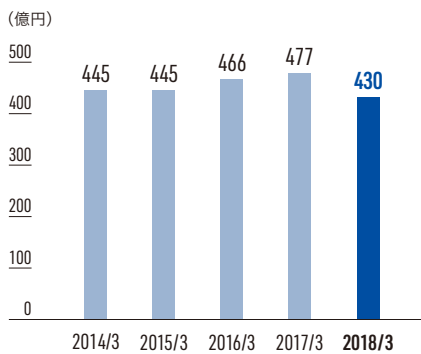
純資産／自己資本比率



1株当たり年間配当金

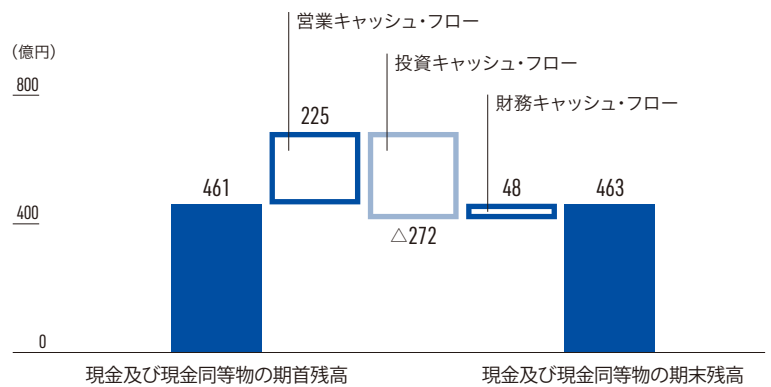


EBITDA

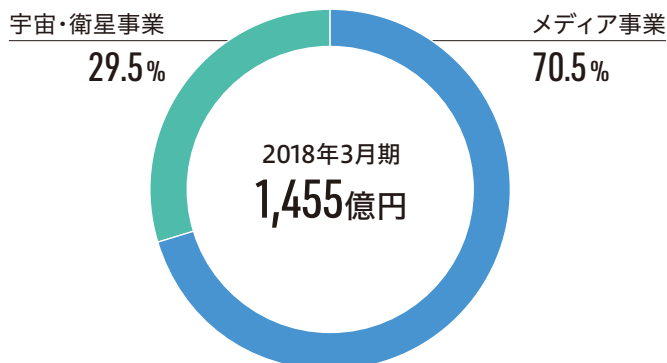


※ EBITDA = (当期純利益) + (税金費用) + (減価償却費) + (のれん償却費) + (支払利息)

キャッシュ・フロー (2018年3月期)



セグメント別営業収益



加入の状況

加入の状況	2018年3月期実績
新規加入件数	
スカパー! 合計	37.0万件
スカパー!	30.5万件
スカパー! プレミアムサービス	5.5万件
スカパー! プレミアムサービス 光	1.0万件
純増数	△5.7万件
累計加入件数	326.2万件
ARPU (¥)	2,040
SAC単価 (¥)	33,353

メディア事業

2018年3月期通期の概況

オリジナル番組投入による競合サービスとの差別化として、音楽コンテンツ「Mr.Children DOME & STADIUM TOUR 2017 Thanksgiving 25」など、オリジナルドラマでは「弱虫ペダル Season2」、時代劇専門チャンネル(日本映画放送株式会社)との共同制作による「橋ものがたり 3部作」を、スポーツコンテンツではUEFAチャンピオンズリーグ17/18、B.LEAGUE 2017-18シーズンを放送しました。

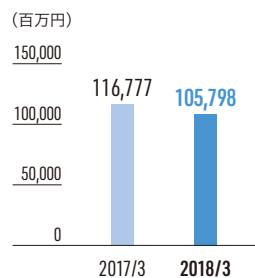
サービスの差別化として、「スカパー！オンデマンド」では、衛星放送のチャンネルや番組をリアルタイムでスマートフォン、タブレット、PC等で視聴できるIPリニア配信を80チャンネルに拡大しました。

「スカパー！プレミアムサービス」における4K専門チャンネル視聴環境整備としては、2017年7月より4K対応プレミアムサービスチューナーの販売を開始しました。

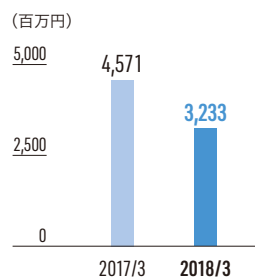
また、「加入料0円キャンペーン」を実施し、2017年10月からは加入料を無料といたしました。さらに12月より開始した2台目・3台目のスカパー！新基本パックを無料とする「スカパー！新基本パック複数台無料キャンペーン」が、新規加入件数の増加に寄与しました。

当期は、Jリーグ放映権喪失等に伴うサッカー関連収入やその他視聴料収入の減少によりセグメント業績は減収減益となりました。

営業収益



セグメント利益



TOPICS

プロ野球2018シーズン
公式戦全試合生中継！

スカパー！は今年もプロ野球セ・パ12球団公式戦全試合を放送するほか、BSスカパー！や各チャンネルではプロ野球関連番組も多数放送します。また、セ・パ9球団の主催試合の生中継をスマートフォン、タブレット、PCなどでいつでもどこでも「スカパー！オンデマンド」でご視聴いただけます。「プロ野球セット」をご契約の方なら追加料金なしでご利用いただけますので、ぜひお楽しみください。

BSスカパー！初のオリジナルアニメ
「グラゼニ」放送開始

BSスカパー！初のオリジナルアニメ放送を開始しました。講談社の週刊モーニングに連載中の人気プロ野球漫画「グラゼニ」をアニメ化。元プロ野球選手が本人役で出演するなど、話題満載です。「スカパー！オンデマンド」でもご視聴いただけます。

SPACE & SATELLITE 宇宙・衛星事業

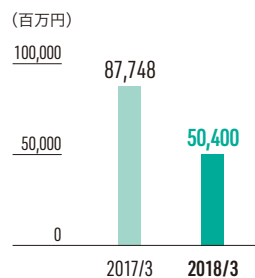
2018年3月期通期の概況

国内衛星ビジネスでは、防衛省より受注したXバンド事業に関して、2017年1月に打ち上げた「きらめき2号」が安定的な運用を継続し、輸送事故による損傷で打ち上げを延期した「きらめき1号」も修理を終えて2018年4月(2019年3月期)に打ち上げ成功しました。また、既存顧客に対する長期契約の更新や、携帯電話基地局向けバックホール回線の提供拡大により、衛星通信市場の基盤が確実に強化しています。この他、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)が開発を進める光データ中継衛星の運用・維持管理業務も受注しています。

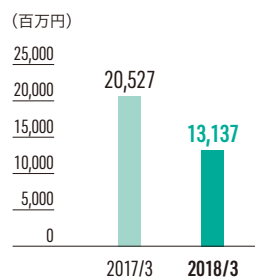
成長への取り組みとして、低軌道衛星ビジネスにも参入しています。衛星通信を手掛けるLeoSat Enterprises, Inc.(米国)への出資や、低軌道衛星の管制や運用に特化するKongsberg Satellite Services AS(ノルウェー)といったトップ企業とさまざまな業務提携を進めています。ドローン事業では、標定点が不要な測量システムを搭載したドローンの販売を世界に先駆けて開始するなど産業用ドローンの利用拡大を図っています。また、当社グループが出資しているKymeta Corporation(米国)が開発した車両・電車・航空機・船舶などさまざまな移動体に搭載が可能な平面アンテナ端末を用いた大容量衛星通信がアジアで初めて成功し、今後は商品化に向けて積極的に取り組んでいきます。

当期は、防衛省への「きらめき2号」の引き渡しによる売上の剥落等からセグメント業績は減収減益となりました。

営業収益



セグメント利益



TOPICS

「飛鳥II」へ船舶向け
次世代衛星通信サービスを提供

飛鳥II

© 郵船クルーズ株式会社

スカパーJSATは、郵船クルーズ株式会社が所有する客船「飛鳥II」へ船舶向けのインターネット接続サービス「OceanBB」の次世代サービスとなる「OceanBB plus」の提供を開始しました。「飛鳥II」は2014年より船内インターネットサービスを提供してきましたが、今回日本初のOceanBB plus導入を実現したことで、通信速度が改善され、より広い海域でのインターネット環境の提供が可能となりました。

ジェフ・ベゾス氏創立の
宇宙開発企業と合意書を締結

New Glennロケットのイメージ

ジェフ・ベゾスCEOと当社高田社長
©Blue Origin

スカパーJSATは、Amazon.com創立者のジェフ・ベゾス氏が設立した宇宙開発企業Blue Origin, LLC(米国)との間で、同社が開発中のNew Glennロケットの利用について合意書を締結しました。これにより今後の通信衛星の打ち上げ計画に幅広い選択肢と柔軟性を確保し、宇宙・衛星事業のパイオニアとして、未来を見据えた事業活動を展開していきます。

衛星調達プロセスを通じた価値創造

宇宙・衛星事業のバリューチェーン
JCSAT-110Aの調達

スカパーJSATは、17機※1の衛星を保有する日本で唯一、アジア最大の民間の衛星通信事業者として、災害時にも信頼性の高いインフラを提供しています。

今回は、赤道上空36,000キロ、東経110度の静止軌道で運用しているN-SAT-110の後



横浜衛星管制センター (YSCC)

継機であるJCSAT-110A(2016年12月22日打ち上げ)をモデルとして、その調達から打ち上げ、さらにその後の運用、サービス提供開始までにみる宇宙・衛星事業のバリューチェーンをご紹介します。

※1 Superbird-B2のデオービット(運用を終えた通信衛星を静止軌道上から離脱させる処置)に伴い、当社の衛星フリートは17機体制となります。

— JCSAT-110Aにみるバリューチェーン —



社会に役立つ取り組み

衛星通信の強みを活かして、災害時の医療・救護活動をサポート

当社は、衛星IPネットワークサービスExBirdサービスに新たに「災害医療プラン」を追加しました。このプランは衛星通信の特徴である「耐災害性」、「広域性」を活かし、情報集約拠点となる災害医療ポータルサイト「広域災害緊急医療情報システム(EMIS)」への安定したインターネット接続を可能にします。医療機関や厚生労働省災害派遣医療チーム(DMAT)事務局等との3年間の検証を踏まえ、より現場に即した機能を厳選し、低価格を実現し、多くの医療関係機関に導入いただきやすくなりました。

スカパーJSATは、大規模災害時の通信遮断から災害医療現場を守り、医療・救護活動を行う関係機関や自治体の円滑な情報収集に貢献してまいります。



災害時の医療・救護活動(イメージ)

離島・山間部への電力・通信インフラ提供に向け実証実験開始

当社は株式会社チャレナジーと協力し、電力・通信インフラが脆弱な国や地域を対象に、風力発電と衛星通信を組み合わせたサービスの2019年度中の事業化を目指します。

チャレナジーが開発中の「垂直軸型マグナス式風力発電機」は、既存の風力発電では難しかった強風・乱流下でも安定して発電が可能です。衛星通信と組み合わせ、台風被災後もすぐに電気と通信を提供できます。このマグナス風車の活用により、電力供給に課題のあった離島地域や山間部でも地上の通信機器が安定的に稼働可能となり、「いつでも、どこでも繋がる」衛星通信最大のメリットが発揮されます。

事業化への第一歩として、国内ではチャレナジーの沖縄試験場にて風車に衛星通信システムを接続した共同実証実験を開始、また海外展開として台風災害の多いフィリピンでの事業可能調査を実施しています。



垂直軸型マグナス式風力発電機

ステークホルダーとの対話

第11回株主様アンケート結果のご報告

「第11回株主様アンケート」へのご協力、誠にありがとうございました。ご要望の高い項目につきまして、以下のように対応を進めています。

「株主通信の充実」として、大きな紙面で、読みやすい構成に刷新しました。また、「企業ホームページ内情報の充実」として、当社の「社会貢献」「人材育成・制度」を紹介するサステナビリティページを2018年3月に新設しました。「投資家向け説明会の拡充」としては、今年度も個人投資家様向けの説明会を東京・大阪等で開催予定です。お近くで開催の際には是非お越しください。

IR活動への期待

- 1位 株主通信の充実
- 2位 当社企業ホームページ内情報の充実
- 3位 投資家向け説明会の拡充

EVENT

「BSスカパー! BAZOOKA!!! 第13回 高校生RAP選手権 in Tokyo」開催のご報告

2018年3月17日(土)に豊洲PITで「BSスカパー! BAZOOKA!!! 第13回 高校生RAP選手権 in Tokyo」を開催し、満員盛況となりました。

株主優待の抽選にご当選された皆様をご招待し、若きラッパー達の熱いパフォーマンスをお楽しみいただきました。



トロフィーを手に喜ぶ優勝者

会社概要

2018年6月22日現在

会社名	株式会社スカパーJSATホールディングス (SKY Perfect JSAT Holdings Inc.)
設立	2007年4月2日
資本金	100億円
従業員数	858名(連結)2018年3月31日現在
所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1
電話番号	03-5571-1500(代表)
URL	https://www.skyperfectjsat.co.jp

取締役及び監査役

代表取締役社長	高田 真治	取締役(非常勤)	中谷 巖
代表取締役副社長	米倉 英一	取締役(非常勤)	飯島 一暢
取締役	仁藤 雅夫	取締役(非常勤)	上坂 清
取締役	小山 公貴	取締役(非常勤)	小杉 善信
取締役	横水 伸次	取締役(非常勤)	藤原 洋
取締役	小牧 次郎	監査役	西村 至
		監査役	小川 晃
		監査役(非常勤)	勝島 敏明
		監査役(非常勤)	國分 幹雄

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日
配当の基準日	期末配当3月31日 中間配当9月30日
取引市場	東京証券取引所 市場第1部
証券コード	9412
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

お問合せ先

お取扱窓口	証券会社に口座をお持ちの場合、各お取引の証券会社等へお問合せ下さい。証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記「お取扱店」にてお取次いたします。
お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店	みずほ証券 本店および全国各支店/プラネットプース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店
配当金の	みずほ銀行 本店および全国各支店
お支払	(みずほ証券では取次ぎのみとなります)

※支払明細の発行については、上記の「お問合せ先」または「お取扱店」をご利用ください。

免責事項 本株主通信に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、これらは、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。

株式の状況

2018年3月31日現在

発行済株式総数	344,603,700株	
株主総数	33,206名	
大株主		
株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
伊藤忠・フジ・パートナーズ(株)	76,568,800	25.78
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)	26,057,000	8.77
日本テレビ放送網(株)	20,891,400	7.03
(株)東京放送ホールディングス	18,434,000	6.21
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (三井住友信託銀行再信託分・三井物産(株) 退職給付信託口)	13,405,200	4.51
住友商事(株)	11,129,200	3.75
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	10,124,100	3.41
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	7,979,400	2.69
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505001 (常任代理人 (株)みずほ銀行 決済営業部)	5,096,802	1.72
(株)電通	4,059,400	1.37

上記のほか、自己株式が47,595,852株あります。

* 持株比率は、自己株式を除いて計算しております。

スカパー!の新サービス



著名人のインタビューや情報が集まる新Webサイト「HOMINIS」がスタート

スカパー!の新たなオウンドメディアサイトとして、「HOMINIS(ホミニス)」が4月11日よりスタートしました。「あらゆる人物にフォーカスする“人”サイト」のコンセプトのもと、番組出演者や著名人インタビューなど「人」に関する最新の情報を毎日発信します。

今が旬の俳優、アイドル、ミュージシャン、声優、スポーツ選手、文化人など様々なジャンルで活躍する人々へのインタビューや、しっかりとした取材、事実に基づく読み応えのあるニュースが満載です。

ぜひ、「HOMINIS」で新たな人との出会いをお楽しみください。

HOMINISサイト <https://hominis.media/>



2018 年 6 月 25 日

「株主通信 2018 年 3 月期末」文書訂正のお知らせとお詫び

この度、弊社が 2018 年 6 月 22 日に株主様に発送いたしました「株主通信 2018 年 3 月期末」において、記載に誤りがありました。深くお詫び申し上げますとともに、下記の通り訂正させていただきます。

記

■訂正対象： 株主通信 2018 年 3 月期末

■訂正内容：5 ページ 「TOPICS」／「飛鳥 II」へ船舶向け次世代衛星通信サービスを提供」

【誤】スカパーJSAT は、郵船クルーズ株式会社が所有する客船「飛鳥 II」へ船舶向けのインターネット接続サービス「OceanBB」の次世代サービスとなる「OceanBB plus」の提供を開始しました。「飛鳥 II」は 2014 年より 「OceanBB」を利用してきましたが、今回の次世代サービスの導入は日本初となり、通信速度の改善と、より広い海域でのインターネット環境の提供が可能となります。

【正】スカパーJSAT は、郵船クルーズ株式会社が所有する客船「飛鳥 II」へ船舶向けのインターネット接続サービス「OceanBB」の次世代サービスとなる「OceanBB plus」の提供を開始しました。「飛鳥 II」は 2014 年より 船内インターネットサービスを提供してきましたが、今回日本初の OceanBB plus 導入を実現したことで、通信速度が改善され、より広い海域でのインターネット環境の提供が可能となりました。

以上

*お問い合わせ先：

株式会社スカパーJSAT ホールディングス 広報・IR 部 IR 担当
TEL：03-5571-1515 FAX：03-5571-1760 E-mail:ir@skyperfectjsat.co.jp